

地域に根ざした食育コンクール2007

元気のよい“食育活動”を募集します！

コンクールの趣旨

「食育」とは、食料の生産から消費にいたるまでの「さまざまな体験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」こと（食育基本法・前文）。

いま「食育」は、健全な食生活・食習慣の確立、農林漁業体験活動の促進、食文化の継承など、地域に根ざした取組みが課題になっています。

本コンクールは、このような国民的課題をふまえて、民間の団体等が自発的に行う活動が全国で展開され、関係者の情報共有が促進されることを目的として実施するものです。さまざまな活動主体による元気な食育活動をひろく全国から募集して、特にすぐれた実践事例を表彰いたします。

提 唱：農林水産省

主 催：地域に根ざした食育推進協議会・(社)農山漁村文化協会

後 援：内閣府／文部科学省／厚生労働省

全国知事会／全国市長会／全国町村会／全国都道府県議会議員会／全国市議会議員会／全国町村議会議員会／(社)日本栄養士会／(社)日本調理師会／(財)日本食生活協会／(社福)全国社会福祉協議会／(財)全国老人クラブ連合会／(財)日本学校保健会／日本学校調理師会／全国学校給食会連合会／(財)あしたの日本を創る協会／日本商工会議所／全国商工会連合会／全国消費者団体連絡会／日本生活協同組合連合会／(社)農山漁村女性・生活活動支援協会／全国生活研究グループ連絡協議会／(独)農畜産業振興機構／全国農業協同組合中央会／全国漁業協同組合連合会／全国森林組合連合会／(財)都市農山漁村交流活性化機構／都市と農山漁村の共生・対流推進会議／(社)全国栄養士養成施設協会／(社)全国調理師養成施設協会／NPO日本食育インストラクター協会／読売新聞社／日本農業新聞／NHK

地域に根ざした食育推進協議会

(社)農山漁村文化協会

<http://nipponisyokuiku.net/>

募 集 要 項

1 募集分野（活動主体による区分）と活動内容の例

- (1) 食生活改善分野—個人や地域団体等による家庭や地域における食育活動
(例：食事バランスガイド活用推進・食文化継承・食と健康を結ぶ活動等)
 - (2) 教育分野—幼稚園・保育所・学校その他教育関係者による食育活動
(例：食事料理指導活動・生産加工販売体験活動・給食改善活動等)
 - (3) 食品産業分野—企業及び関係団体等による食育活動
* 食品産業以外の企業の食育活動も、この分野でご応募ください。
 - (4) 農林漁業分野—農林漁業関係者による食育活動
(例：子どもや消費者を対象とした生産加工体験・食文化継承活動等)
 - (5) 食育ネットワーク分野—上記(1)～(4)のうち3分野以上が連携した食育活動
(例：食育のまちづくり等の地域連携型/総合的食育活動)
- * 応募者の資格は問いません。個人の応募も歓迎します。1団体1事例の応募を原則とします。
* 分野については、事務局で変更することもありますのでご了承ください。

2 応募方法

応募用紙に必要事項を記入の上、切り取り、添付書類・写真と同封して事務局宛て送付してください。

3 応募〆切 平成19年10月30日(火) … 当日必着

4 審査委員(敬称略)

委員長 坂本元子(和洋女子大学副学長併教授)

委員 阿部裕吉(学校食事研究会事務局長) / 井上弘司(飯田市企画部主幹) / 早瀬仁美(福岡女子大学人間環境学部栄養健康科学科・大学院人間環境学研究科教授 医学博士) / 福士千恵子(読売新聞社編集局生活情報部次長) / 宮本圭一(㈱フードワークス代表取締役社長) / 栗田庄一(㈱農山漁村文化協会常務理事)

5 審査基準 * 下記の3点を勘案して審査・選考します。

A：創造性(新たなアイデア・工夫があるか) / B：実効性(食育効果は上がっているか) / C：普及性(今後の普及発展性はあるか)

6 審査結果の発表

平成19年12月に、農林水産省より受賞内容を公表します。表彰団体を除いて、個別には審査結果をお知らせいたしません。

7 表彰(予定)

農林水産大臣賞 / 農林水産省消費・安全局長賞 / 地域に根ざした食育推進協議会長賞

※昨年度は、審査委員会奨励賞を含め34事例が表彰されました。受賞者には、副賞が贈呈されます。

8 表彰式・発表展示会

<開催日> 平成20年1月26日(土)

<会場> 東京国際フォーラム 展示ホールB 東京都千代田区丸の内3-5-1

<時間> 10:00~16:00(予定)

9 応募者の特典

受賞事例を紹介する報告冊子を謹呈します。

ホームページからの申し込みも受け付けています。

昨年までの食育関連コンクール受賞実践事例も紹介しています。

<http://nipponisyokuiku.net/concour>

■問合せ・応募書類送付先

(社)農山漁村文化協会 提携事業センター内 地域に根ざした食育コンクール係

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1 電話：03-3585-1144 FAX：03-3585-6466 E-mail：con-shoku@mail.ruralnet.or.jp

地域に根ざした食育コンクール2007

— 応募用紙 —

1 応募区分の選択 下記の2区分をチェック☑して下さい (各1つを選択)

A：応募主体の区分

- ①食生活改善分野
 - ②教育分野
 - ③食品産業分野
 - ④農林漁業分野
 - ⑤食育ネットワーク分野*
- (* 3分野以上の連携活動)

B：活動対象の区分

- ①幼児・児童・生徒
- ②一般市民・学生
- ③その他
(対象の広いもの)

2 団体のプロフィール

・名称 (個人の場合は、個人と記入してください)

()

・代表者 職名・氏名

()

・所在地 (〒)

()

・電話 () ・FAX ()

・Eメールアドレス

()

・学校の場合、児童・生徒数規模 ()

・記述担当者 職名・氏名

()

※記述担当者の連絡先が、上記所在地・電話等と異なる場合は下記に記入してください。応募書類・内容についておたずねする場合があります。

・所在地 (〒)

()

・電話 () ・FAX ()

・Eメールアドレス

()

3 活動の名称 (簡潔にお願いします。特に名称を決めていなければ、テーマやキャッチフレーズを)

()

・活動の開始年次

()

4 活動の内容

次の項目順に記載願います。①活動を開始した具体的な動機、②目的、③特に工夫したことやねらい、④実施期日・参加人数・経費、⑤活動の成果と今後の課題、⑥その他について、概ね3,000字程度で記述してください。(応募時点で、当年度の活動が完了していない場合は、その旨を明記してください)。

※恐れいりますが、この応募用紙とは別に、A4サイズ用の紙にご記入していただきますようお願いいたします。(ワープロ等による作成ファイルは、フロッピーディスク等のテキストデータ歓迎)

5 活動の概略

〔4 活動の内容〕の要約を必ず300字以内厳守でご記入ください。(社)農山漁村文化協会が発行する食育関連雑誌等で紹介させていただきます。)

6 添付書類 有り 無し

- ・活動内容が分かる写真(プリントしたものを歓迎します。枚数は10枚以内)
- ・活動内容を補足する文書等(任意)

※応募書類・写真及び添付書類は返却できません。必ずコピーをおとりください。

※応募書類・写真及び添付書類は、コンクール関連の媒体資料に使用することを前提とさせていただきます。

※他のコンクールに応募した書類をそのまま使用して応募することはご遠慮ください。

※ビデオテープ・DVD等の作品は審査対象とはなりません。

7 コンクール募集を何によって、お知りになりましたか？(複数記入可)

()

8 食育コンクールデータベース登録のお願い

本コンクールの応募文書(応募フォームの3・4・5項、添付の写真も含む)は、食育の実践のための貴重な資料として、原則として、食育コンクールデータベースに収録し、HPにて公開させていただきます。 <http://syokunou.net/repo/>

- データベース収録を認める
- データベース収録を認めない
- データベース収録を条件つきで認める

(条件:)